

2学期は、小学校では運動会や音楽会、中学校では文化祭など、子どもたちのこれまでの学びの成果を発揮する場面が多く見られたことと思います。大きな行事もひと段落した今、落ち着いた気持ちで子どもたち一人一人の取組を見つめ直し、個々が成長を自覚できるような学級づくりを進めましょう。



<小学校>

どの子にも居場所のある教室環境づくり

自分のよさを自覚できず、自分に自信をもてずにいる子はいませんか？

⇒子どものことは、子どもたち同士が知っていることが多くあります。

「Aさんは、水やりを手伝っていたよ。」「B君は、ボールの片づけをしていたよ。」先生が気付かないところで“そと”行われている温かな行為。それに気付ける友達の存在。そんな声を形にすることで、温かな空気が生まれていきます。



帰りの会などでそんな友達の姿を言葉にして、桜色の花びらに記入し掲示します。きっと、学年が終わるころには、教室が温かな花でいっぱいになっていることでしょう。

学級の問題を自ら解決する「学級会」

学級に問題が生じたとき、「困ったことが起きた」と、落ち込むときがありますが、「ピンチはチャンス」と考えれば、学級に生じた問題は、子どもたちの自立への資質・能力を養う重要な場面となります。



その際、学級の問題を教師が主導して解決の方向に向かわせるよりも、子どもたちの課題意識を高め、「どう解決したいのか」を子どもたちに問いかけながら、学級会の中で一人一人の思いやアイデアを位置付けることで、合意形成につなげていきましょう。

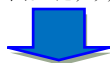
学級会は、子どもが学級づくりに参画し、話し合いを通して、自己調整したり友と協働したりしながら問題を解決する経験として大切にしたい活動の一つです。

<中学校>

人権感覚を育てる学級づくりの工夫

「蓬生麻中 不扶自直」

(「よもぎまちゅうにしょうずれば たすけずしておのずからなおし」)



「環境が人を育てる」= 「環境」こそ人権教育

〇子どもにとって「学級」が安心できる場所に

そのために・・・

・人権を尊重した声かけを

「〇〇さん、ありがとう」

「先生、嬉しかったよ」 etc…

・子どもの思いを聴く

「〇〇さんにとって、過ごしやすい教室ってどんなイメージなのかな？」 etc…

子どもの人権を尊重し、子どもの思いをしっかり聴くこと。子どもにとって落ち着いて過ごすことができ、思いを聴いてくれる環境が安心できる場所につながります。



学級目標の達成度を確認してみませんか？

4月にクラスで話し合っただけ決めた学級目標。ここには「こんなクラスにしたい」という、子どもたちの思いが詰まっています。年度末の目標達成に向けてこの時期までの達成度を確認してみましょう。

【Step1：学活】

- ①今、「できていること」と「課題」を出し合いながら、学級目標が達成されたときの具体的な姿をクラスで共有する。
- ②具体的な姿に向けての行動目標をいくつか決め、優先順をつける。



【Step2：毎日】

- ①Step1を基にルーム長が「今日の行動目標」を決め、朝学活で伝え、黒板に書く。
- ②全員で意識しながら、一日生活する。
- ③午後学活で「今日の行動目標」を振り返り、出来ていたら次の目標にチャレンジ。

達成した「今日の行動目標」を短冊で掲示すると、協力の積み重ねが目に見えます。また月ごとに学級を振り返り、優先順を見直すといいですね。